

血清ナトリウム値が入院加療中の転倒リスクに与える影響についての後方視的研究

1. 研究の対象

2012年1月1日以降に高知大学医学部附属病院(以下、当院)へ入院し、2018年9月30日までに当院を退院した20歳以上(当院入院時点)の患者様を対象とし、「血清ナトリウム値が入院加療中の転倒リスクに与える影響」について後ろ向き研究を検討させていただきたいと思っております。なお、本研究は高知大学医学部倫理委員会の承認を得て実施いたします。

2. 研究目的・方法

【目的】

入院加療中の転倒に関するリスク要因の研究は過去にも実施されており、様々な要因が明らかとなっております。最近では、新たに低ナトリウム血症を有する方は転倒リスクが高く、かつ転倒後の骨折発生リスクも高いとの報告があります。しかし、多くは海外の地域在住高齢者を対象とした研究であり、本邦における入院加療中の患者様を対象とした、血清ナトリウム値が院内転倒リスクに与える影響を調査した研究はほとんどありません。

このため、当院の電子カルテに保存されているデータを網羅的に解析し、血清ナトリウム値が院内での転倒リスクに与える影響を検討したいと考えております。

【方法】

上記対象の患者様の診療記録を参照し、解析します。

【期間】

高知大学医学部倫理委員会での承認日から2019年12月31日までを予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

【情報の種類・個人情報の保護】

使用する情報は、転倒発生の有無や病歴、投薬歴、検査結果など、必要な医療情報のみを抽出し、どの患者様の情報であるかが直ちに判別できる情報(例:氏名・住所・生年月日など)は抽出いたしません。また、電子カルテから抽出した情報は、パスワードで保護ならびに暗号化処理した媒体に保存します。本研究終了後は、速やかにすべての情報は破棄いたします。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問などがありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書や関連資料を閲覧することができますので、お申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて、患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には、本研究の対象とはいたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合、患者様に不利益が生じることは一切ありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者 兵頭 勇己 (高知大学医学部附属医学情報センター・助教 / 理学療法士)

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

電話：088-880-2547(直通) FAX：088-880-2214